

◎しらかわ

shirakawa

議会だより



(平成27年6月29日 明生長寿連合会ふれあい運動会より)

第7号

平成27年7月10日
発行

CONTENTS

6月議会定例会	2	広報委員会報告	9
6月定例会 一般質問	4~9	ふれあい懇談会開催のご案内	10
議会の予定	4・5	白川村議会でタブレットを導入	10
総務産業常任委員会報告	6	陳情、要望	11
世界遺産保存対策特別委員会報告		歴史のとびら	12
	7	議会探検隊募集	12
企業誘致対策特別委員会報告	8	編集後記	12



白川村
shirakawa village

議会広報



6月議会定例会は、平成27年6月22日から6月26日までの会期で開かれ、議会報告3件、条例改正1件、平成26年度一般・特別会計補正予算8会計を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

◆6月議会定例会

議会報告（3件）

◎平成26年度飯島観光開発

株式会社の経営状況の報告
地方自治法の規定により、健全経営である旨の報告を受けました。

◎平成26年度白川村繰越明許費の報告

地方自治法の定めによる13事業を平成26年度から平成27年度に繰越を行なった報告を受けました。

◎平成26年度事故繰越し繰越使用の報告

地方自治法の定めによる事業を平成26年度から平成27年度に繰越を行なった報告を受けました。

※繰越明許とは…

あらかじめ、年度内に経費を使用し終わらない恐れがあることが予想されたものについて、予算の定めるところにより繰越すもの。

※事故繰越しとは…

年度当初においては、全然繰越しを想定していなかったが、たまたま避けることができない事故（災害）のために年度内に経費の使用が終わらなかった場合。

条例の一部改正（1件）

白川村総合計画審議会設置条例の一部改正

総合計画策定に向け柔軟な審議運営ができるよう、条例の一部を改正しました。



平成27年度補正予算（8件）

白川村一般会計補正予算（第2号）

補正額187,269千円増額
（補正後、3,295,826千円）

【歳入】

※主な内容（1百万円以上）

村税

▼平成27年度課税額及び平成26年度滞納繰越分の確定により、32,688千円を増額しました。

国庫支出金

▼社会保障・番号制度システム補助費及び臨時福祉給付金等により、13,652千円を増額しました。

県支出金

▼商工費県補助金として、世界遺産登録20周年記念事業補助金5,500千円を減額しました。

繰入金

▼せせらぎ公園駐車場整備に係る財源として基金繰入金を3,100千円を増額しました。

諸収入

▼コミュニケーション助成金等を2,540千円増額しました。

【歳出】

※主な内容（1百万円以上）

総務費

▼一般管理費として、総務人件費11,187千円を減額しました。

▼財産管理費として、教職員住宅駐車場補修工事及び電算管理システム経費等で18,754千円を増額しました。

▼財政調整基金費として、平成26年度の精算に伴う基金積立金65,000千円を計上しました。

▼企画費として、地域おこし協力隊人件費及びクアオルト推進事業に8,198千円を増額しました。

民生費

▼社会福祉総務費として、社会福祉担当職員に係る人件費及び介護保険等特別会計に11,948千円を増額しました。

▼介護保険費として、介護保険事業勘定特別会計繰出金1,934千円を増額しました。

衛生費

▼保健衛生総務費として、国保直診勘定特別会計繰出金他1,917千円を減額しました。

▼清掃総務費として、清掃担当職員に係る人件費6,541千円を増額しました。

農林水産業費

▼農業総務費として、農務担当職員に係る人件費2,799千円を減額しました。
▼地籍調査費として、地籍調査業務委託費1,033千円を増額しました。

商工費

▼商工総務費として、観光担当職員に係る人件費14,767千円を増額しました。
▼商工業振興費として、企業立地支援事業に係る修繕費2,000千円を減額しました。
▼観光費として、踊り街道フェスティバル開催事業補助金及び世界遺産20周年記念事業に26,909千円を増額しました。
▼せせらぎ公園管理費として、せせらぎ公園駐車場の舗装等に係る修繕費等3,100千円を増額しました。

教育費

▼事務局費として、教育委員会事務局職員に係る人件費及び白川郷学園ICT整備事業に係る委託料等2,517千円を増額しました。

▼公民館費として、コミュニティ1助成事業に係る交付金2,500千円を増額しました。

▼文化財保護費として、世界遺産20周年記念教育プログラム事業及び茅葺成事業費を22,436千円減額しました。

白川村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

事業勘定の部

補正額 11,744千円増額
(補正後、204,744千円)

【歳入】

※主な内容(1百万円以上)
▼前期高齢者交付金として、前期高齢者に係る療養給付費算定により6,637千円増額しました。

【歳出】

※主な内容(1百万円以上)
▼後期高齢者支援均等として、3,843千円を減額しました。

直診勘定の部

補正額 5,324千円増額
(補正後、102,424千円)

【歳入】

※主な内容(1百万円以上)
▼諸収入として、県北西部へき地医療広域連携事業に伴う事業収入2,688千円を増額しました。

【歳出】

※主な内容(1百万円以上)
▼県北西部へき地医療広域連携として、広域連携業務による医師派遣等に係る委託料3,836千円を増額しました。

白川村簡易水道特別会計補正予算(第1号)

補正額 増減なし
(補正後、64,000千円)

【歳入】

※主な内容(1百万円以上)

【歳出】

▼使用料及び手数料として、未収繰越分1,186千円を増額しました。
▼増減なし

白川村公共下水道特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,005千円増額
(補正後、453,205千円)

【歳入】

※主な内容(1百万円以上)
▼使用料及び手数料について、下水道使用料の滞納繰越1,057千円を増額しました。

白川村介護保険特別会計補正予算(第1号)

保健事業勘定の分

補正額 11,426千円減額
(補正後、196,426千円)

【歳出】

※主な内容(1百万円以上)
▼総務費として、社会保障・税番号制度対応システム改修に係る経費1,934千円を増額しました。

一般質問

問



大田 貢 議員

□ 高山市街への外出支援車について
 □ 北陸新幹線開業について
 □ 国道360号、県道白山公園線
 通行止めについて

Q 「孫の手」行政、高山市街への外出支援車「いかまいカー」の運行は高齢者にとつて安心して住み続けられる大変良い政策だと思ふ。週2回のうち1回を白鳥町方面にできないか。

A 本年5月から運行を開始しました「いかまいカー」は、5・6月にそれぞれ3回づつ運行いたしました。利用者が定着するまでには、時間がかかることが予想されますが、利用者からは大変喜ばれています。現在、試験的に高山市のみでの運行となつていますが、利用者の要望等がありましたら改善していききたいと考えています。

Q 高山市では4月からのバス利用者が62%増加しているようだが、白川郷への観光客の現状は。また、加賀温泉おもてなしプロジェクトでは、温泉に泊まって片道無料キャンペーンを実施している。白川郷では何らかの対策を考えているのか。

A せせらぎ公園駐車場利用者は、本年4・5月は過去最高の普通車21,453台、バス5,783台となっております。この増加につきましては、訪日外国人の影響が大きいと考えています。また、白山白川郷ホワイトロードにつきましては、岐阜県が飛騨管内の宿泊者に対し800円の割引をしていま

Q 白川村にとつて国道360号は飛騨市と結ぶ重要な道路である。また、県道白山公園線は白山登山ルートであり観光シーズンの通行止めは、南部地域にとつて大打撃であるため、早期に復旧すべきである。

A 県道360号線につきましては、災害状況がひどく年内の復旧は厳しいとの判断であります。また、県道白山公園線につきましては、岐阜県のご努力により8月末に復旧することとなりましたが、いず

れも岐阜県管理でありますので、1日でも早く復旧頂けるよう要望して行きます。



7月

July

白川村議会議員月別行事等予定

行事	出席者
1日(水)～3日(金) 議会 東京陳情	全員
8日(水) 全国町村議会議長会主催 広報クリニック	高 桑 広報委員長
9日(木) 飛騨農業共済事務組合 臨時議会	川田 議長
14日(火) 議員懇談会	全員
22日(水) 白川村国民健康保険運営協議会	議長
23日(木) 高山土木事務所・飛騨農林事務所、 飛騨森林管理署 要望活動及び懇談会	全議員
24日(金) 岐阜県町村議会議長会 会計監査	議長
29日(水) 岡山県議会行政視察(小中一貫教育)	高 桑 広報委員長
30日(木) 国道304号期成同盟会総会	川田 議長



上手 英二 議員

第六次産業の育成について

Q 村は以前、同様の質問に対し「白川郷ブランドにおいて、白川産のものに付加価値を付けた商品の開発」「観光振興課と基盤整備課との連携」と農地の集約化を、「農地中間管理整理機構」にお願いし、村に相談があれば協力する」と回答したが、現在の状況と連携について状況を聞きたい。

A ブランド認定委員会により差別化された商品をPRしています。また、認定希望品には農産加工品も多いことから、ブランド認定委員会に農務係も参画し観光振興課と連携を図っています。一方、農地中間管理整理機構事業につきましては、本年度に岐阜県及び有識者等により農地実態調査を実施いたします。



Q 村長は、平成27年度施政方針等に第六次産業についてあまり触れられていないが、農業協同組合法や農業委員会法が改正され、農業委員は市町村長が議会の同意を得て任命することとなった。このことを思っても村長に係る責務は重大であると考えられ、企業誘致と六次産業は切っても切れない関係であると考えられる。村長の考えを聞きたい。



A 法改正により農業委員の選出方法が選任性と変更され、委員の過半数を認定農業者で組織しなくてはならなくなります。しかし、本村の認定農業者は2名と1法人ということもありまして、他市町村の動向や県等各種機関に相談しながら、本年度中に任命方法等について検討いたします。

8月

August

白川村議会議員月別行事等予定

行事	出席者
3日(月) (予定)執行・議員懇談会	全員
11日(火) (予定)議員懇談会	全員
14日(金) 成人式	全員
18日(火)～20日(木) 全国市町村国際文化研修所主催 市町村議会議員研修(1年目)	大田(忠) 議員
20日(木) 岐阜県国民健康保険運営協議会 会長連絡協議会	議長
21日(金) 県町村議会議長会 評議員会	議長
24日(月) 東海北陸自動車道建設促進同盟会・ 東海環状道路建設促進期成同盟会 平成27年度合同総会	議長
25日(火) 国道360号(白川・小松間)整備 促進期成同盟会 総会	議長
25日(火)～26日(水) 村民ふれあい懇談会	全員
27日(木)～28日(金) 中部縦貫自動車道促進 長野・岐 阜連絡協議会要望	議長



新谷 保雄 議員

旧平瀬小廃校活用について

旧平瀬・白川両小学校は平成23年3月に廃校となり、同年4月から両小学校が統合し小中一貫校が誕生した。同年8月から学校検討委員会（旧平瀬小部会）を立ち上げ、廃校舎の有効活用に向け旧平瀬小部会を6回開催し検討した結果を平成25年2月に村長に対し提

言した。提出後、約2年が経過しているが、提言が実現されたのは「児童公園」「グラウンドゴルフ場」のみであり、その他の提言事項「生涯学習機能」「行政サービス機能」「交流人口増加機能」について、今後の取り組みと進捗状況を聞いた。



A

旧校舎につきましては、本年から2カ年をかけて、福祉センター及びカルチャーセンター機能の一部を移転させ、公益機能の集約による利便性の向上と地区住民の豊かな



暮らしを実現させるために筋トレルーム・多目的ホール・図書室等を整備する計画です。また、平瀬診療所をカルチャーセンターへ福祉センターの一部をならみずの湯に移転させたい構想がありますが、いずれの施設も地域の皆様と協議を行い決定して行きたいと考えています。

総務産業常任委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 川田 裕

6月定例会会期中に改選後初めての常任委員会を開催しました。6月定例会の初日に付託されました平成27年度一般会計及び特別会会計の補正予算（8会計）について審査し、いずれも可決すべきものとして26日の最終日に報告いたしました。（詳細については、1～2頁に掲載のとおり）

また、全委員において政策課題の洗い出しを行い、本常任委員会として以下のとおり調査を実施していくことといたしました。

- ① 温泉・白弓スキー場他
- ② 空き家対策と移住・定住事業
- ③ クアオルト構想と村民の健康増進事業
- ④ 地域おこし協力隊事業

なお、今後は村民の皆様との情報共有や意見交換を行いながら、最終的に行政へ提言できるように取りまとめをしたいと考えていますので、議会とのふれあい懇談会や各種会議等の折にご意見をいただければ幸いです。



高桑 徹司 議員

「これからの安全・安心について」

Q

村の長年の懸案事項であったハザードマップを完成させ、村民の避難に対する道しるべを示したことは高く評価できる。そうした中で、洪水に対する避難において、迅速に高台に行くための避難経路は、複数あるべきであり、更に安全であることが不可欠である。徒歩の避難は、基本中の基本と考え是非避難経路の点検と補修等の対策について聞きたい。

A

修繕が必要な個所につきましては、地域要望がいただけるよう行政からも働きかけを行い迅速に対応したいと考えております。また、配布させていただいたハザードマップには避難経路の記載がありませんので、地域や近所の方々がお年寄りや子どもがいる世帯に気配りをいただき、防災意識の向上を図っていただきたいと思います。

Q

全国各地において火山噴火が起きている。本村の「白山も例外ではなく、1659年の噴火を最後に活動が収まっているが、最近になって火山性地震も観測され、他人事ではない危機感を感じている。万が一、白山が噴火した場合を想定すると御前峰から約5kmの距離にある源泉の管理は事実上困難が予想され、温泉を看板商品としている平瀬温泉は死活問題となることは明白で、新しい源泉を求め等を含め、村として出来ることとの協議をする場を早急に作るべきであるが考えを聞きたい。

A

白山の噴火につきましては、早急な対応は現時点で求められていません。一方、平瀬温泉の泉質は利用者からは大変好評であります。しかし、送湯管及び源泉の管理に対する経費の増大や冬期間の管理の問題もありません。

Q

源泉を新しく求めることは新規事業費の問題や泉質が違うことによるリピーター離れ等々による利用者の減少も考えられ、村民理解が必要であると考えます。

A

現在導水管の切り替え工事を行っている芦倉地域を例とすると、地域の方は、現工事をしている水は農業・消火栓用に使用しているが「洪水による詰り」「渇水時と通常時の水量の差が大きい」等によって機能の確保がされにくく、また、飲料水は別の谷から取水している等の現状を見ると小集落の安全・安心をどのように提供できるのかが課題であると感ずる。芦倉地区の水源地確保も含め小集落に対する暮しの支えについて聞きたい。

小集落は問題が多義にわたるため、案件ごとに個別で対応させていただきたいと考えています。一方、芦倉地区の飲料水の確保につきましては、平成28年度に予算化を行う予定です。

世界遺産保存対策
特別委員会報告

世界遺産保存対策特別委員会
委員長 新谷 保雄

今定例会会期中に改選後初めての本特別委員会を招集し、旧白川診療所跡地計画の概要等について担当課から説明を聞きましたが、詳細な図面などは設計中のことであり、詳細設計が完成した後に再度審議することとなりました。

また、本特別委員会の政策課題を以下のとおり取りまとめましたので報告いたします。

- ① 世界遺産地内の有料駐車場規制条例の制定に向けた検討
- ② 茅場造成と茅刈機械の研究
- ③ 小呂地内の土地問題

なお、今後は村民の皆様のご意見や委員内での意見調整を行い、最終的には行政へ提言書として提出を考えています。議会とのふれあい懇談会や各種会議等の折にご意見をいただければ幸いです。





大田 忠広 議員

□ さくら山荘、デイサービスセンターについて
 □ 子育て支援について
 □ 白川村役場職員のメンタルヘルスについて

Q

村内の要介護高齢者が増加し、さくら山荘への入所待機者は約20名と聞く。さくら山荘の9床増床も今後の課題であるが、現在の職員配置では現状維持が精一杯であり、職員が1名でも欠ければコンプライアンスを守ることもできないため、増床は施設管理者との協議が不可欠であると考ええる。

一方、デイサービスセンターしゃくなげ荘は、平成6年に開所し老朽化が進み、いたるところで修繕が必要となっている。職員配置や車両維持、或いは経費の削減などを進め、将来に向けた高齢者施設のあるべき形づくりに取り組む必要があると考ええる。働きやすい職場の確保、そして高齢者へ安全な介護を提供するために、まずデイサービスセンターをさくら山荘に隣接させることが急務と考える。

A

国の政策変更により村は、在宅介護やホームヘルパーの充実が急務となっている。また、デイサービスセンターの併設やさくら山荘の増床については、介護保険料との兼ね合いもありますので早急に検討したいと考えています。

Q

保育園児にかかる保育料はその親だけでなく、同居世帯全体収入により負担額が決定されている。特に20代の親は収入が低く、保育料の負担が生活費を圧迫していると聞く。村には様々な子育て支援があるが、保育料についての支援はない。少子高齢化の対策として、保育料を軽減する

保育料を軽減する



A

ことで白川村は子育てがしやすい環境づくりに取り組むべきである。

Q

現村長の就任後、各世帯における第3子以降の保育料全面無料化、全園児に対する給食費の無料化、満1歳からの未満児保育の開始、土曜日の終日保育、平日4時以降の延長保育等々を開始しています。一方、保育料につきましては、本年4月の子ども子育て支援法の施行に伴い、村条例の見直しにより平均で2千円程度の減額となっています。

昨今の社会環境の中で、社員のメンタルケアに取り組む民間企業が増加している。村役場職員のメンタルケアについて聞きたい。

昨今メンタルヘルスの重要性が叫ばれる中、職員については岐阜県市町村職員共済組合が行なう、24時間カウンセリングサービスの活用や同組合が開催するメンタルヘルスセミナーの受講及び岐阜県市町村研修センターが開催するメンタルタフネス講座を希望者ではあります。受講させています。

企業誘致対策
 特別委員会報告

企業誘致対策特別委員会
 委員長 大田 貢

6月定例会会期中に改選後初めて本特別委員会を開催し、現在村が取組んでいます「企業誘致」の現状と進捗状況について説明を聞かせていただきましたが、村が抱えている課題を解決できるまでの進捗は見られません。そこで、本特別委員会では継続的に以下ことについて審議していくことといたしました。

- ① 大規模旅館の誘致
- ② 漬物工場の誘致
- ③ 酒造会社の誘致
- ④ 食料品店の誘致

このことにつきましては、今後、村民の皆様との意見交換をはじめ、進出希望又は、どうしても誘致したい企業等と積極的に懇談を行いながら、行政と共に誘致活動を展開していきたいと考えていますので、議会とのふれあい懇談会や各種会議等の折にご意見をいただければ幸いです。



川田 裕 議員

□空き家再活用に伴う適正
管理の在り方について

Q 全国に約820万戸の空き家があるといわれ、各自治体では人口減少と高齢化に伴う空き家の増加に対し「壊さず工夫して空き家と向き合う」という試行錯誤が続いている中、村の空き家対策は、移住定住情報の発信や空き家の購入や改修費用に対する一部助成等の積極的な取り組みを行い、一部ではあるが成果も見られる。そこで、村の活用されていない空き家の対策は。

A 法律に定義づけられていません問題となる空き家は、
①倒壊等著しく保安上危険の恐れのある状態のもの。
②著しく衛生上有害となる恐れのある状態のもの。
③適切な管理が行われないことにより著しく景観を損なっている状態にあるもの。

④その他周辺環境の保全を図るために放置することが不適切な状態にある空き家。

以上を「特定空家等」と呼びます。本村にはこのような状態の空き家はなにも思っています。このような状態になる前に所有者を把握し適正な管理をお願いしていくことが重要と考えています。

Q 空き家対策特別措置法と所有者の関係は。

A 法律の施行に伴いまして、立ち入り調査、指導、勧告、命令、代執行措置が認められました。また、財政上等の措置や命令に違反した場合の過料も規定されましたので、行政は法律を後ろ盾とすることが可能となりました。

Q 条例制定の必要性は。

A 法律では条例化の規定はありませんが、今後の対応といたしまして2〜3年後をめざし独自条例を制定して行きます。



広報委員会報告

広報委員会

委員長 高桑 徹司

平成26年5月にこの「議会だより」を創刊し、今月で7号目を迎えることができました。各号の「編集後記」においても編集する難しさをお伝えしているところではありますが、村民の皆様には村議会がどんな活動し、議会では何を審議し行政施策にどう反映させているか等々が上手くお伝えできています。そんな悩みを解消するために7月8日(水)〜9日(木)にかけ、全国町村議会議長会が主催します「町村議会広報クリニック」に参加しています。「議会広報」を勉強して参りました。

とても参考になりましたし、村議会が発行しています広報を持参しクリニックも受けてきましたので、徐々にではありますが見易さ、伝わり易さを追求しながら編集して行きたいと思っておりますので期待してください。

なお、今後は村民モニター募集や一般質問の事前告知などの様々な取り組みも考えておりますのでその際はご協力をお願いいたします。

平成27年度 ふれあい懇談会開催のご案内

広報委員会委員長 高桑 徹司

恒例となっております「ふれあい懇談会」を、議員全員参加をもって下記のとおり開催させて頂く事となりました。村の事業に対すことや日々の暮らしで感じること等、「いつまでも住み続けたい村」であるために、私達議会は、村民皆様との懇談会を大切にしたいと考えております。それぞれご多用の事と察しますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいませよう、ご案内申し上げます。

記

日時 8月25日(火) 19時30分～

場所 白川村文化交流施設
(道の駅白川郷隣り)

日時 8月26日(水) 19時30分～

場所 平瀬カルチャーセンター

白川村議会でタブレットを導入しました

議員7名は「タブレット議会」を見据え、行政に先駆けてiPadを導入いたしました。

このタブレット議会は全国的に普及が広がりつつあり、都道府県議会や全国の市・町議会での導入事例も多く、県内でも先駆けて導入している議会も見受けられます。

このタブレット端末導入の利点は、紙から電子データへの移行が進むことによるペーパーレス化、情報伝達の迅速化、業務効率の向上、村民の方へ行政情報を伝える際にその場で情報提供ができる。などが挙げられます。

しかし、情報等のセキュリティ問題や村長をはじめ村幹部が未導入のため現段階では有効活用ができない状況であること。そして不慣れな議員が本場に活用できるのかといった乗り越えなければならぬ課題も数多くありますが、議員の強い意志により、平成28年度完全導入を目指し取り組んでいきます。

村民の皆様には本格的に稼働した際は、この議会だよりに掲載しお知らせいたしますので、7名の議員に対し行政情報の閲覧を依頼してみてください。

陳情 要望 に行ってきました。



7月1日(水)から3日(金)にかけ、7名の議員と村長が岐阜県選出の衆・参議院議員に村の現状と今後の課題を訴え、更に、国道156号線の改良促進・東海北陸自動車道清見ICから小矢部ジャンクション間の4車線化・白山のシェルター設置に対する要望も併せて行ってきました。
また、地方創生事業についての勉強会も行いました。

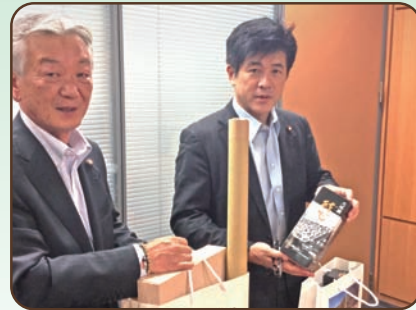


衆議院議員 ^{かね こ}金子 ^{かず よし}一義 議員
(自由民主党 岐阜県4区選出)



金子先生とは
「村の道路事情」について
懇談しました。

衆議院議員 ^{いま い}今井 ^{まさ ひと}雅人 議員
(維新の党 東海ブロック選出)



今井先生とは
「安法制」について
懇談しました。

衆議院議員 ^{ひら さわ}平沢 ^{かつ えい}勝栄 議員
(自由民主党 東京都17区選出) (白川村出身)



平沢先生とは
「世界遺産登録20周年記念
事業」について、当日の講
師依頼をしました。

参議院議員 ^{わた なべ}渡辺 ^{たけ ゆき}猛之 議員
(自由民主党 岐阜県選挙区)



渡辺先生とは
「国道156号線の改良」について
懇談しました。

参議院議員 ^{おお の}大野 ^{やす ただ}泰正 議員
(自由民主党 岐阜県選挙区)



大野先生とは
「世界遺産」について
懇談しました。

地域創生について勉強会

最終日の7月3日(金)に内閣府 地方創生推進室 伊藤明子次長様から、地方創生についてのお話と意見交換会を行いました。「先進的な事例の紹介」や「今後の制度の見通し」についてとても興味深いお話をいただきました。今後、地方創生を活用する上で大変参考となりました。



～大正時代の発明品～

皆さん、こんにちは。4月の議会選挙を経て、再び執筆させて頂くことになりました。宜しくお願ひ致します。今回は、時代も変わり大正時代の扉を開きたいと思ひます。1912年7月に明治天皇が崩御され大正の時代となりました。国政も毎年のように内閣が代わる激動の時代の中で、今では当たり前になっている様々な物が登場しました。大正4年の事でした。問題①、早川兄弟商会金属文具製作所が「早川式繰出鉛筆」という名で発売された商品。いったい何でしょう？（答えは、文末にあります。）また、問題②、「世界的煙草代用品」として登場した物と言えはなんでしょう？そして、台所を預かる皆様がお世話になっている「亀の子たわし」が特許を取得したのは、この年の7月2日（たわしの日）、割烹着も家庭着として発表され全国へと広まりました。大正4年は、西暦に直すと1915年。なんと、今から100年前の出来事なんです。100年に渡り、今でも愛用されているこの品々も凄いいけど、100年後の6月22日に、1分で1000台を完売したソフトバンクの感情認識ロボット「ペッパー」が出るなんて、想像した人っているのかなあ？そう言えば、6月の定例会で学校へタブレットを50台導入を決めました。また、私達議会議員も7月からタブレットを導入して、紙による書面を減らした会議運営や文書郵送の経費削減を図っております。白川村の魅力は、田舎なのに最先端を取り入れて活かそうとする心と、アナログにどっぷり使った、100年経っても色あせせず愛され続ける亀の子たわしのように、合掌造りを守り支え続けている心だと思っています。それでは、問題の答えです。①、シャープペンシル。②、チューインガムでした。それでは、次回までごきげんよう。

歴代

白川村議会議員

議員氏名
(カッコは大字名)

就任 昭和54年4月28日	宮丸 文良 (飯島)	遠山 幹 (御母衣)	鈴口 茂 (萩町)	長瀬 吉実 (萩町)	田口 曠 (平瀬)	平田 民造 (鳩谷)	谷藤 泰一 (島)	荒井 治男 (椿原)	津田 俊顯 (萩町)	遠山 春吉 (御母衣)	梨谷 徳次 (平瀬)	板谷 静夫 (萩町)	就任 昭和58年4月28日	遠山 幹 (御母衣)	谷藤 泰一 (島)	森下 澄雄 (木谷)	平田 民造 (鳩谷)	根尾 治吉 (萩町)	北田 筆雄 (鳩谷)	宮丸 文良 (飯島)	板谷 一 (萩町)	津田 俊顯 (萩町)	遠山 春吉 (御母衣)	梨谷 徳次 (平瀬)	田口 曠 (平瀬)	平田 民造 (鳩谷)	谷藤 泰一 (島)	荒井 治男 (椿原)	津田 俊顯 (萩町)	遠山 春吉 (御母衣)	梨谷 徳次 (平瀬)	板谷 静夫 (萩町)
就任 昭和62年4月28日	根尾 治吉 (萩町)	森下 澄雄 (木谷)	鈴口 茂 (萩町)	梨谷 徳次 (平瀬)	北田 筆雄 (鳩谷)	宮丸 文良 (飯島)	遠山 幹 (御母衣)	板谷 一 (萩町)	津田 俊顯 (萩町)	遠山 春吉 (御母衣)	就任 平成2年11月12日	松山 太郎 (萩町)	就任 平成3年4月28日	遠山 幹 (御母衣)	宮丸 文良 (飯島)	鈴口 茂 (萩町)	津田 俊顯 (萩町)	森下 澄雄 (木谷)	根尾 治吉 (萩町)	松山 太郎 (萩町)	南 陽進 (鳩谷)	小坂 安彦 (平瀬)	板谷 克雪 (萩町)									

議会探検隊募集(議会傍聴です)

森崎議長が心より皆様をお待ちしております。
一般質問で戦う議員を、応援して下さい。

記

日時 9月定例会本会議 一般質問日
(9月下旬頃を予定。行政無線等で周知します)

会費 1,000円 (弁当・お茶代)
傍聴のみでお帰りの方は、必要ありません。

定員 先着10名様

締切 定例会会議3日前。但し、議会傍聴のみならず当日となりますが、定員に達している時は、お断りする場合もあります。

申込先 白川村議会事務局 (成原伸次まで)

声は、
出せませんが

編集後記

4月の選挙で初当選の大田忠議員。12年経って、ようやく私より若い議員が誕生しました。そして、8月には大津市の研修施設へ1期目議員対象の研修会に申し込んでいました。応募多数の場合は抽選になりますが、研鑽を積んで皆様の付託に応える議員になって欲しいと願います。頑張れ！
(高桑 徹司)

